



2020年9月17日

各位

会社名 藤久株式会社  
 FUJIKYU CORPORATION  
 代表者名 代表取締役社長 堤 智章  
 (コード: 9966 東証第一部・名証第一部)  
 問合せ先 経営企画室長 永安 吉太郎  
 (TEL 052-774-1181代表)

## (訂正) 「2020年6月期決算説明会資料」の一部訂正に関するお知らせ

2020年8月20日付「2020年6月期決算説明会資料」につきまして、一部訂正すべき事項がございましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、赤枠で示しております。

### 記

#### 1. 訂正理由

グラフのデータ、表記数値に誤りがあったため、訂正するものであります。

#### 2. 訂正内容

- ・12ページ 事業部門別売上構成比と店舗数  
(訂正前)

### 既存店の状況



#### ●事業部門別売上構成比と店舗数



#### ◆ 店舗の売上が大きく向上

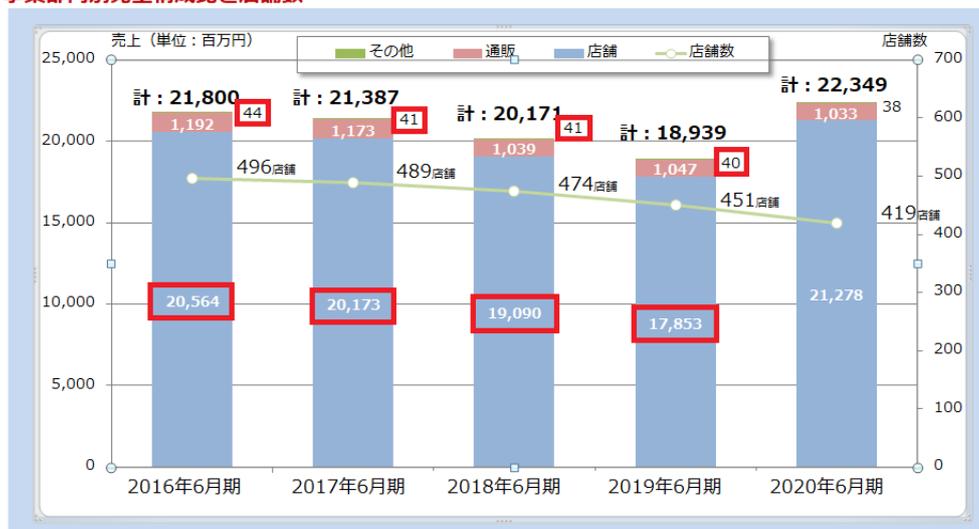
2020年6期の下半期においては、新型コロナウイルスの感染拡大による手作りマスク需要・巣ごもり需要により、閉鎖した店舗の減少数や緊急事態宣言時の店舗閉鎖による影響を大きく上回り、売上が急伸しています。一方、通販部門についてはその恩恵を受けたものの、上半期の増税後の需要の冷え込みや、物流拠点の移転による業務一時休業の影響を補えませんでした。【ECの強化は経営課題としてP.37に記載】

(訂正後)

## 既存店の状況



### ●事業部門別売上構成比と店舗数



#### ◆店舗の売上が大きく向上

2020年6期の下半期においては、新型コロナウイルスの感染拡大による手作りマスク需要・巣ごもり需要により、閉鎖した店舗の減少や緊急事態宣言時の店舗閉鎖による影響を大きく上回り、売上が急伸しています。

一方、通販部門についてはその恩恵を受けたものの、上半期の増税後の需要の冷え込みや、物流拠点の移転による業務一時休業の影響を補えませんでした。【ECの強化は経営課題としてP.37に記載】

12

・22ページ キャッシュフロー計算書

(訂正前)

## 財務の状況



### ●キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2019年 6月30日	2020年 6月30日	増減額	主な内訳
営業活動による キャッシュフロー	△ 1,369	2,448	3,818	+ ) 税引前当期純利益の増加 + ) たな卸資産の減少 △ ) 営業債権の増加
投資活動による キャッシュフロー	△ 75	3	78	+ ) 有形固定資産の売却による収入 △ ) 資産除去債務の履行による支出
財務活動による キャッシュフロー	1,333	△ 290	△ 1,623	+ ) 長期借入れによる収入 + ) 株式の発行による収入 △ ) 長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の 期末残高	2,981	5,143	2,162	

### ●シンジケートローン契約締結

2020年3月19日付開催の取締役会にて、名古屋銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約の締結が決議され、3月25日に契約を締結しました。運転資金を安定的かつ機動的に調達することを目的としたものです。

組成金額	3,500百万円	返済方法	元金均等返済 (6回分割返済)
契約締結日	2020年3月25日	借入返済期日	2023年9月末日を第1回とし、2026年3月末日を最終回とする3月及び9月の各末日
契約形態	タームアウト型コミットメントライン契約	適用利率	基準金利+スプレッド
コミットメント期間	2020年3月27日～2023年3月31日	担保	無担保

22

(訂正後)

## 財務の状況



### ●キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2019年 6月30日	2020年 6月30日	増減額	主な内訳
営業活動による キャッシュフロー	△ 1,369	2,444	3,818	+ 税引前当期純利益の増加 + たな卸資産の減少 △ 営業債権の増加
投資活動による キャッシュフロー	△ 75	3	78	+ 有形固定資産の売却による収入 △ 資産除去債務の履行による支出
財務活動による キャッシュフロー	1,333	△ 289	△ 1,622	+ 長期借入れによる収入 + 株式の発行による収入 △ 長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の 期末残高	2,981	5,143	2,162	

### ●シンジケートローン契約締結

2020年3月19日付開催の取締役会にて、名古屋銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約の締結が決議され、3月25日に契約を締結しました。運転資金を安定的かつ機動的に調達することを目的としたものです。

組成金額	3,500百万円	返済方法	元金均等返済（6回分割返済）
契約締結日	2020年3月25日	借入返済期日	2023年9月末日を第1回とし、2026年3月末日を最終回とする3月及び9月の各末日
契約形態	タームアウト型コミットメントライン契約	適用利率	基準金利+スプレッド
コミットメント期間	2020年3月27日～2023年3月31日	担保	無担保

22

・24ページ 業績予想

(訂正前)

## 2021年6月期業績予想



### ●業績予想

(単位：百万円)

	2019年6月期		2020年6月期		2021年6月期予想		2020年6月期対比	
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	%	金額
売上高	18,939	100.0%	22,349	100.0%	21,185	100.0%	94.8%	△ 1,164
売上総利益	11,067	58.4%	13,010	58.2%	12,704	60.0%	97.6%	△ 306
販管費及び 一般管理費	12,599	66.5%	12,126	54.3%	11,793	55.7%	97.3%	△ 333
営業利益	31	0.2%	883	4.0%	911	4.3%	103.2%	28
経常利益	△ 1,516	△ 8.0%	749	3.4%	899	4.2%	120.0%	150
当期純利益	△ 2,919	△ 23.2%	282	2.3%	600	2.8%	212.8%	318
	第2Q	期末	第2Q	期末	第2Q	期末		
一株当たり 配当金 (円)	-	-	-	25.00	12.50	12.50		
配当性向	-	-	-	54.4%	-	51.3%		

※2021年6月期の一株当たり配当金は、株式分割実施後の一株当たり配当金です。

- ◆ 新型コロナウイルス関連に起因する売上特需が減少する → 2019年6月期（2期前）比では111.4%
- ◆ 不採算店34店舗の閉鎖に伴い、店舗の収益性が向上する → 営業利益率の向上（4.0→4.3%）
- ◆ 人員削減による販管費減少効果もあるが、店舗修繕費を+1.6億円程度増加させているため構成比率は若干増加（グロス金額は減少）
- ◆ 資金調達に関わる費用（コミットメントライン設定手数料の計上影響）は改善

24

(訂正後)

## 2021年6月期業績予想



### ●業績予想

(単位：百万円)

	2019年6月期		2020年6月期		2021年6月期予想		2020年6月期対比	
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	%	金額
売上高	18,939	100.0%	22,349	100.0%	<b>21,185</b>	100.0%	94.8%	△ 1,164
売上総利益	11,067	58.4%	13,010	58.2%	<b>12,704</b>	60.0%	97.6%	△ 306
販管費及び一般管理費	12,599	66.5%	12,126	54.3%	<b>11,793</b>	55.7%	97.3%	△ 333
営業利益	△ 1,532	△ 8.1%	883	4.0%	<b>911</b>	4.3%	103.2%	28
経常利益	△ 1,516	△ 8.0%	749	3.4%	<b>899</b>	4.2%	120.0%	150
当期純利益	△ 2,919	△ 23.2%	282	2.3%	<b>600</b>	2.8%	212.8%	318
	第2Q	期末	第2Q	期末	第2Q	期末		
一株当たり 配当金 (円)	-	-	-	25.00	<b>12.50</b>	<b>12.50</b>		
配当性向	-	-	-	54.4%	-	<b>51.3%</b>		

※2021年6月期の一株当たり配当金は、株式分割実施後の一株当たり配当金です。

- ◆ 新型コロナウイルス関連に起因する売上特需が減少する → 2019年6月期（2期前）比では111.4%
- ◆ 不採算店34店舗の閉鎖に伴い、店舗の収益性が向上する → 営業利益率の向上（4.0→4.3%）
- ◆ 人員削減による販売管理費減少効果もあるが、店舗修繕費を+1.6億円程度増加させているため構成比率は若干増加（グロス金額は減少）
- ◆ 資金調達に関わる費用（コミットメントライン設定手数料の計上影響）は改善

24

なお、訂正後の「2020年6月期決算説明会資料」は、当社ホームページに掲載しております。

URL <https://www.fujikyū-corp.co.jp/ir/kessan.html>

以上